

より身近な複合加工機 INTEGREX j-200 に 第 2 主軸付きが新登場

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、複合加工機エントリーモデルの INTEGREX(インテグレックス) j-200 に、第2主軸付きの INTEGREX j-200S を追加し、発表と同時に販売を開始しました。

1983 年に複合加工機の初号機を発表以来、複合加工機の開発を積極的に進め、その代表機「INTEGREX シリーズ」は、複合加工機の代名詞と呼ばれています。2010 年には、複合加工機をさらに一般化し普及させるために、ハイエンドの機能を残しながら仕様の最適化や機能を絞り込み、使いやすさを追求し、プログラムを含めた操作性向上や、作業者の安全性向上・保守性向上など、ヒューマン・マシンインターフェイスを取り込むなど、複合加工機をより身近にする機械として INTEGREX j シリーズを開発しました。

今回発表の INTEGREX j-200S は、INTEGREX j-200 に第 2 主軸を搭載することにより、第 1、第 2 工程の連続加工が可能となり、一台の機械で全工程を完結させ生産リードタイムを大幅に短縮します。第 2 主軸には第 1 主軸と同一仕様のビルトインモータを搭載し高能率な加工が可能です。ミーリング主軸は、5° 分割(オプションで 1° 分割)で -30° ~ 210° の範囲で割り出し可能なため、1 本の工具で外径・端面・斜め加工などの多面加工が可能で、工具本数の削減、工程集約、サイクルタイム短縮が容易にできます。また、小型マシニングセンタ並みの充実した切削能力を誇り、高能率加工を提供します。



INTEGREX j-200S

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 営業統括部 広報・販売企画課

TEL:0587-95-1144 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください